LEICA M10 - 4.26.36.10
LEICA M10 MONOCHROM - 5.26.35.51
LEICA M10-P - 5.26.35.51
LEICA M10-P ASC - 4.26.36.10
LEICA M10-R - 40.26.35.51

NEW

- レンズプロファイル: Summicron-M 66 f/2

JA

ファームウェア アップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

→ メインメニューでカメラ情報を選択する。

- メニュー項目カメラファームウェアの隣に、バージョンが表示されます。バージョンが表示されます。

ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、以下のサイトからご覧いただけます。
club.leica-camera.com

ファームウェアをアップデートする

ファームウェア アップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。
ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。
- カメラの電源を切らない。
- メモリーカードを取り出さない。
- バッテリーを取り出さない。
- レンズを取り外さない。

メモ
- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- カメラ情報のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。

使用前の準備

→バッテリーを満充電し、カメラに入れる。

→メモリーカードに他のファームウェアが保存されている場合は、必要のないものを消去する。
- メモリカードに保存されているすべての画像をバックアップしてから、カメラでフォーマットすることをお勧めします。
  （注意：データ消失！フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。）
- 内蔵メモリーのデータも事前にバックアップしてください。

→最新のファームウェアをダウンロードする。

→メモリーカードに保存する。
- ファームウェアファイルは必ずメモリーカード最上位階層に保存してください。下位階層では読み込みができません。

→メモリーカードをカメラに挿入する。

→カメラの電源を入れる。

カメラのファームウェアをアップデートする

M10 / M10-P / M10-P ASC / M10 Monochrom / M10-R

→最新のファームウェアをダウンロードする。
→メモリーカードに保存する。
→メモリーカードをカメラに挿入する。
→カメラの電源を入れる。
→メインメニューでカメラ情報を選択する。
→カメラファームウェアを選択する。
- このメニュー項目は挿入されているメモリーカードに新しいバージョンのファームウェアが保存されている場合のみに選択が可能です。
- アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。

→バージョン情報を確認する。
→Yesを選択する。
- アップデートが自動的に開始します。
- 正常に完了すると、終了のメッセージが表示され自動的にカメラが再起動します。

カメラのファームウェアをアップデートする

M10-D

→準備する。
→ファンクションボタンを押したままカメラの電源を入れる。
- アップデートが自動的に開始します。
- アップデート中は、ファインダー内にUPと表示されます。
- エラーが起こった場合は、Errと表示されます。
- アップデートが完了した場合は、Endと表示されます。

6ビットエンコーディングなしでのライカMレンズの使用

Leica M10-Dでは、6ビットエンコーディングのないLeica Mレンズを標準プロファイルで使用します。自動または手動によるレンズ認識が行われないため、EXIFデータにはレンズ情報が記録されず、レンズ固有の画像補正も適用されません。

もちろん、レンズ自体は制限なく使用可能です。撮影された画像は、使用したレンズの自然な描写特性に忠実なものとなります。